社会資本総合整備計画　　社会資本整備総合交付金

令和06年11月22日

計画の名称	第三期足立区において地域特性に応じた都市・まちを計画的につくる													
計画の期間	令和０２年度　～　令和０６年度　(5年間)											重点配分対象の該当		
交付対象	足立区													
計画の目標	区内に点在する大規模な工場等跡地において良質な住宅の供給を誘導し、まちの活力源となる新たな居住者の流入を促す。 併せて幹線道路及び区画道路整備を行い、まちの公共交通網を強化することで、良好な住宅市街地の形成を図る。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）	163	A	163	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R4末	R6末
1	現状の関原・梅田地区は、東西方向の幹線道路網が形成されておらず、東西の行き来が困難である。補助第138号線を整備し、都道補助第100号線～国道4号を繋ぎ、東西方向の交通ネットワークを構築することで、利便性の向上を図る。			
	補助第１３８号線を通行した都道補助第１００号線～国道４号への自動車での移動距離 （移動距離）＝（整備前）－（整備後との相違経路）	2100m	m	1700m
2	現状西新井駅前地区から国道4号を繋ぐ主要生活道路網が形成されておらず、西新井駅の南側は密集市街地が形成されている。主要区画道路②を整備し、西新井駅～補助第138号線を繋ぎ、交通ネットワークを構築することで、利便性の向上を図る。			
	主要区画道路②を通行した西新井駅西口～国道４号への自動車での移動距離 （移動距離）＝（整備前）－（整備後との相違経路）	3600m	m	1900m
3	西新井駅西口交通広場は、(1)交通広場内にバス停が集約されていない、(2)バス利用者の待機列により一時的に歩道の空間が満足に確保出来ていないという課題がある。車道および歩道を拡幅し、これらの課題を解決することで、利便性の向上を図る。			
	歩行者サービス水準 歩行者サービス水準（人／m分）＝歩行者交通量（人／時）÷歩道幅員（m）÷60（分／時）	32人/m分	人/m分	12人/m分
4	千住大川端地区については、関屋公園、地区幹線道路及び区画道路の整備を計画しているため、公園整備率及び道路整備率を指標として次期整備計画以降に効果が再現される。			
	公園整備率、道路整備率 （公園整備率）＝（整備された公園の面積）／（公園整備の計画面積）%、　（道路整備率）＝（整備された地区幹線道路及び区画道路の延長）／（地区幹線道路及び区画道路の計画延長）%	0-	-	0-

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

案件番号：　0000613081

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別１	種別２	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市区町村名／港湾・地区名	事業実施期間（年度） R02	R03	R04	R05	R06	全体事業費（百万円）	費用便益比	個別施設計画策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	足立区	直接	区	－	－	西新井駅西口周辺地区住宅市街地総合整備事業	拠点地区の整備　約94.3ha	足立区	■	■	■	■	■	160	1.17	－
	A16-002	住宅	一般	足立区	直接	区	－	－	千住大川端地区住宅市街地総合整備事業	調査地区　約47.3ha	足立区					■	3		－
											小計						163		
											合計						163		

案件番号： 0000613081

交付金の執行状況

（単位：百万円）

	R02	R03	R04	R05	R06
配分額（a）	6	0	32	2	53
計画別流用増△減額（b）	0	0	0	0	0
交付額（c=a+b）	6	0	32	2	53
前年度からの繰越額（d）	0	0	0	0	0
支払済額（e）	6	0	32	2	53
翌年度繰越額（f）	0	0	0	0	0
うち未契約繰越額(g)	0	0	0	0	0
不用額（h = c+d-e-f）	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率（i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0	0	0
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 第三期足立区において地域特性に応じた都市・まちを計画的につくる

事　前　評　価	チェック欄
I.　目標の妥当性	
①関連する上位計画等との整合性が確保されている。	○
I.　目標の妥当性	
②地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I.　目標の妥当性	
③地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標になっている。	○
I.　目標の妥当性	
④緊急性の高い課題に取り組む内容になっている。（該当するもの）ク　良好な住環境の整備	○
II.　計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なもののとなっている。	○
II.　計画の効果・効率性	
②事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II.　計画の効果・効率性	
③事業の実施に当たり福祉施策等との連携、民間活力の活用等が図られている。	○
II.　計画の効果・効率性	
④地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
III.　計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
III.　計画の実現可能性	
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
III.　計画の実現可能性	
③計画内容に関し、住民に対する説明等が行われている。	○

案件番号：0000613081